

老化は血管のサビが原因だった

# 血管のサビを 方法止する

全国の書店、楽天、  
アマゾンなどにて

2022年  
3月25日(金)  
発売 !!

## 方法止する 血管のサビを

老化は血管のサビが原因だった



一般財団法人  
150歳の会 理事長

熊野 活行

著者が 20 年間  
実践体験した  
血管のサビ防止方法

### 著者

熊野 活行 (一般財団法人 150 歳の会 理事長)

ニューヨークの心臓外科医からの申し出

専門医が見た未来

薬剤を使用しない血圧低下の研究成果を発表

高齢者にありがたい話

思い続けることの大切さ

9 歳の記憶と世界的特許

日頃、皆さまから若いと言われたり、

なぜ昔と変わらないのかと聞かれてきたことが多くありました。

その秘密を明かす時が来ました。

本書を読んでいただければナゾが解けます！

## はじめに

サッカーや野球、相撲など多くのスポーツ選手は30歳代後半で引退する人が多い。人生100年といわれる時代に、なぜ、なぜ、なぜと思います。女性も30歳代に入ると急に肌を気にするようになります。ひと言でいうと体のサビがそうさせているのではないでしょうか？

体の衰えは血管のサビが原因といわれています。もしこの血管のサビが防げたなら、スポーツ選手はもつともつと活躍できるし、女性も美しさをもつと長く持続できるのではないかでしょうか。

本書はそんな人類の長年の夢を科学的に実現する方法を皆さんに知つてもらうために書かれたものです。どうか最後までおつき合いください。きっと、皆さまの夢をかなえるためにお役に立つと確信します。

老化は血管のサビが原因だつた

## 血管のサビを防止する方法とは

はじめに···2

《目次》

血管をピチピチした状態に保とう！

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>血管をピチピチした状態に保とう！</b></p> <p>はじめ……………2</p> <p>『目次』……………4</p> <p>世界初、NMRパイプテクターを使用した薬剤を使用しない血圧低下の研究成果を発表高齢者にありがたい話……………97</p> <p>裏づけはサビた水道管の再生から</p>   | <p>1 血管長寿150年<br/>老化と寿命……………10</p> <p>2 生きるための矛盾<br/>人は酸化反応で生きている？……………19</p> <p>3 太陽の恵み<br/>天からのプレゼント……………24</p> <p>4 酸化とは<br/>意外に知られていないメカニズム……………27</p> <p>5 副作用の検証<br/>自身で試した20年……………30</p> <p>6 活性酸素がもたらす老化<br/>体もサビる……………47</p> <p>7 人は血管のサビで老いる<br/>美しさにも影響……………59</p> <p>8 血管は嘘をつかない<br/>血管の青い線……………63</p> <p>9 人類2200年の夢<br/>今も昔も変わらない夢……………67</p> <p>10 ついに実現。世界初、世界臨床薬理学会で研究成果を発表<br/>実はスゴイこと……………72</p> <p>11 ニューヨークの心臓外科医からの申し出<br/>専門医が見た未来……………86</p> <p>12 集中力が向上<br/>脳の働き向上……………88</p> <p>13 NMRパイプテクターにより血液中の血小板の凝集能寿命をのばす<br/>研究成果を発表……………93</p> |
| <p>15 思い続けることの大切さ<br/>9歳の記憶と世界的特許……………110</p> <p>16 建物配管の老化を防ぐ<br/>27年間の実績……………116</p> <p>17 ロンドン市庁舎（ロンドン・ギルドホール）への酸化防止装置の導入……………128</p> <p>18 ウィットエンントンNHS加盟病院への酸化防止装置の導入……………134</p> <p>19 ロイヤルガーデンホテルへの酸化防止装置の導入……………140</p> <p>20 英国スコットランド王立銀行への酸化防止装置の導入……………152</p> <p>21 裏づけの各種研究成果が登場<br/>水が変わる……………162</p> <p>22 関連研究発表が続々<br/>水のクラスターサイズが変化……………169</p> <p>おわりに——希望と未来……………192</p> <p>北海道大学名誉教授勇田敏夫氏の言葉……………196</p> <p>東京理科大学名誉教授北原文雄氏監修の言葉……………200</p> <p>著者プロフィール……………203</p> |   |

## 東京理科大学名誉教授 北原文雄氏 監修の言葉

熊野活行君の著書

『老化は血管のサビが原因だった』を読んで

本著書の作者、熊野活行君は東京理科大学工学部 工業化学科に所属し、私の研究室で一年間卒業研究を行いました。優秀な成果を挙げて卒業した者です。

彼は卒業後に進路を自分で開拓していきましたが、私の研究室の大きなテーマは界面化学でした。彼が社会に出て研究したのは、鉄管と水との界面におけるサビ止めという界面化学でありました。

さらに進んで血管の老化防止という生体系の界面化学がありました。

これらの研究成果がこのたびの著書の内容であります。

この著書の中で私が特に注目しているのは、第十四章にある著者が開発したNMRバイブテクターによる血圧低下測定という薬剤を使用しない方法であります。

こちらは注目すべき方法としてさらに発展し、利用されることが期待されます。

以上が、彼（著者）が著書で述べた中の最大の成果（しかも界面化学的な成果）であると私は考えます。そしてこの成果は大変貴重であると言えます。

二〇二一年 十二月 吉日

監修 東京理科大学名誉教授

北原 文雄

